



平成 24 年 2 月

第 60 号

SEIFUKU

清 福

題字 総本山金剛峯寺座主松長有慶大僧正祝下

高野町議会だより



平成 24 年 高野町消防出初式

平成23年12月定例会

おもな内容

- ◇ 12 月定例会の概要・議案審議 2 頁
- ◇ 厚生建設常任委員会（所管調査） 3 頁
- ◇ 総務文教常任委員会（所管調査） 3 頁
- ◇ 高野町議会議員研修（東京都） 3 頁
- ◇ 一般質問 4 頁

発行 高野町議会
編集 広報特別委員会

〒 648-0281

和歌山県伊都郡高野町大字高野山 636

TEL : 0736-56-3000

FAX : 0736-56-5300

e-mail : gikai-jimu@town.koya.wakayama.jp

平成23年12月議会定例会概要

12月13日に開会された12月定例会は、21日までの9日間で議案審議いたしました。
本定例会では、請願書1件、条例の制定2件、条例の改正3件、一般会計補正予算及び特別会計、事業会計補正予算5件、同意案件1件の12議案が提案されました。一般質問では4名の議員が後述の内容で町政に対して質問しております。

平成23年12月定例会議案審議

請願第1号高野町立高野山病院の診療所化反対の請願について

委員長報告

厚生建設常任委員会に付託された請願についての委員長報告をします。13日及び14日の二日間にもわたり請願の内容を審議しました。現体制で今後病院を維持していくことが困難な状況であるのか、と町当局に再度確認を行なった。住民に対しての広報活動、説明会等の周知等は徹底していると思われる。今後診療所になっても今までの業務に支障がないと判断したので、委員会として不採択とした。

質問

委員会において、どのように審議されたのかお尋ねします。なぜ不採択になったのか理解できない。

答弁

高野山病院としては赤字が2億円近く出ています。住民に負担をかけられない。今後診療所になっても訪問看護、訪問診療を行って医療を充実させていく。

反対討論

先の住民説明会の内容は診療所化ありきの説明会であった。議会にも諮っていないのに、広報、テレビ、新聞などに流しただけで納得してもらっていると言うことは住民として納得できません。

賛成討論

毎年1億円を下らない繰り入れを行ってきました。経営改善コンサルタントに依頼し、病院の改革改善の報告をうけた。公立病院の役割として住民のニーズに沿った対応、経営の効率化、経営形態の見直しなどコンパクトな診療所化への答申であった。限られた医療資源を有効に利用し、出かける医療として、在宅医療、訪問診療、訪問看護等提供できる体制に変更していく。我々議会も十分心して診療所運営に協力していかなければならない。

採決の結果

請願第1号については不採決となりました。

高野町立高野山総合診療所条例の制定について

質問

町長は病院のコンパクト化はやむを得ないといっておりますが、病院の職員は減るのか。薬剤師は何人減るのか。医師はそのままですか。給料もそのままですか。

答弁

診療所になることにより人員配置の見直しをします。医師の給与の見直しは今のところ考えていません。

質問

4月1日より救急2床にすると言うハードランディングより、1年ぐらい時間をかけてソフトウェアで移行させる期間が必要ではないか。その間町民の理解もできますし、町の努力もできるのではないかと思います。

答弁

今の体制で看護師の不足ということはこれまでも説明させていただきました。特に救急対応を兼ねながら夜勤の体制を維持することは、現状では難しいです。今後も引き続き広報を中心に病院から十分に説明していけるように考えていきたいと思っております。

質問

全員協議会の中の話で、マンパワー不足ということで看護師の不足とばかり思っていたが、院長の話聞きますと医師の不足もありますと言っていました。その辺の所も聞かせていただきたい。それと救急業務の搬送も教えていただきたい。

答弁

現在宿直も兼ねて24時間体制でおこなっております。労災基準100時間を超える120時間働いております。負担を軽減していくとすることで、夜間当直医師の応援、医師住宅に居て救急時の対応を考えています。

答弁

当然診療所になりますと救急搬送が多くなります。細部については今後シミュレーションをしながら協議を重ねていきたいと思っております。

質問

高野山病院には、病院運営委員会がありません。診療所になればこの運営委員会はなくなるかどうかお聞きします。

答弁

診療所になっても経営の議論を行っていくかなければならないので、当然委員会は設置していきます。

反対討論

新たに病院から診療所に変えるための検討委員会を立ち上げ、その中で今後進むべき道を探るのが順当ではないかと思えます。診療所化に進むと

とは性急ではないかとおもっています。

賛成討論

この内容の中に、介護保険法に関する介護サービスがあります。高野町のように高齢化した町において、訪問をしていただけると言うのは非常に斬新な改革であると思っております。診療所化によって新たに展開される訪問診療、訪問看護をいかに充実させていただくに期待します。

採決の結果

投票採決をおこないました。結果9対1で原案可決されました。

平成23年度高野町一般会計補正予算(第5号)

質問

森林整備地域活動支援交付金100万円と紀州材需要創出事業補助金10万円の説明をお願いします。

答弁

台風12号の関係で作業道が必要となったので、森林整備地域活動支援交付金100万円を貰って作業道を作る事業です。これは金剛峯寺の山林部の作業道です。追加分の10万円は町長応接室の木質化の事業です。

質問

シルバー人材センターの運営状況を教えてください。

答弁

常勤職員1名と臨時職員1名の2名で運営を行っています。会員数は40名います。現在公園等の草刈を行っています。今後新たな事業の展開を行う案件も考えています。そして社団法人格をとって国からの補助金をもらうように今目指しています。

質問

防災諸費の修繕料の説明をお願いします。

答弁

西郷地区のサイレンが鳴らないので、取り換えの修理と上筒香地区で1箇所聞こえない所がありスピーカーを設置しました。それと無線ハンディ機の電池及び大学グラウンドの所にある電柱移動の費用です。

要望

全地域に対応出来る防災無線受信機を検討中ということですが、慎重に検討していただき、全域で聞こえるような体制をお願いいたします。

質問

住宅管理費の修繕料の説明をお願いします。

答弁

細川団地の飲料水のポンプユニット関係の取り換え費用です。対応年数が来ておりました。それと桜団地の窓ガラスが結露等で痛みました。ガラスの取り換えの修繕費用です。

議案とその結果（12月議会）

議案名	付託委員会	審議結果
高野町立高野山病院の診療所化反対の請願について	厚生建設常任委員会	不採択
高野町税条例の一部を改正する条例について		原案可決
高野町都市計画税条例の一部を改正する条例について		原案可決
高野町行政財産使用料条例の制定について		原案可決
高野町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について		原案可決
高野町立高野山総合診療所条例の制定について		原案可決
平成23年度高野町一般会計補正予算（第5号）について		原案可決
平成23年度高野町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について		原案可決
平成23年度高野町介護保険特別会計補正予算（第2号）について		原案可決
平成23年度高野町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について		原案可決
平成23年度高野町立高野山病院事業会計補正予算（第1号）について		原案可決
高野町固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて		原案可決

厚生建設常任委員会（管内所管調査）
平成23年11月18日（金）

出席者 負門委員長、松谷副委員長、中前委員、平野委員、西辻委員、崎山議長
現地視察箇所

①町道東細川1号線道路災害復旧工事現場、
②不動谷（東細川）河川災害復旧工事現場、
③町道高野幹線道路災害復旧工事現場、④高野山環状道路現場

3階委員会室において、今井建設課長、崎山係長より災害現場の現在の状況を聞く。その後各現場を視察する。
町に対しては工期を遅れないよう申しあげた。



町道東細川1号線災害復旧現場

総務文教常任委員会（管内所管調査）
平成23年11月21日（月）

出席者 所委員長、大西副委員長、掛委員、大谷委員、崎山議長
視察箇所 高野山小学校、花坂小学校、富貴小・中学校 高野中学校
各学校において、



花坂小学校（図書室）

校長及び教頭先生から教育方針・研究課題・運営上の問題点等を聞く。
各学校における運営上の問題点等については、上中居教育長が同行していたので、3階委員会室において報告をしました。

平成23年度高野町議会議員研修（東京都）
平成23年10月26日（水）～27日（木）

出席者 崎山議長、目黒副議長、中前議員、掛委員、大西議員、松谷議員、所議員、負門議員、平野議員

26日は、国会議員に国道480号及び国道371号の改良工事の要望活動をおこなった。

要望活動は、石田真敏衆議院議員、世耕弘成参議院議員、鶴保庸介参議院議員、大江康弘参議院議員、各議員の議員会館において要望を行った。

27日は国土交通省所管の東京臨海広域防災公園を視察。

防災体験学習施設において、防災体験ゾーン72時間、どう生きるか？「東京直下72h T O U R」はマグニチュード7.3最大震度6強の首都直下地震の発生から非難までをニテンドードSを使ったクイズに答えながら生きぬく知恵を学ぶ防災体験を行いました。



石田真敏衆議院議員会館（事務所）



平野 一夫 議員

高野山病院の将来像について

質問

医療・保健・福祉の連携こそ、我々の人生を楽しくすこやかにするのであって、この世に生まれた限り、老化して、病にとりつかれ、いずれ、死をむかえることはみんな体験致します。だから医療・保健・福祉の三連携こそ医療の充実につながると思います。

町の予算を見ても、病院、国保、老人保健、民生費をまとめて、医療福祉の占める予算は大きい。

そんな中、医師、看護師がいなくなり、病院診療所がなくなれば、私達町民は不安が募って安心のないそれこそ、不安で住めない町になります。

以上により、これからの病院の将来像について説明して下さい。

答弁（病院事務長） 高野町の人口が激減し、高野山病院で診療を受ける患者数が減少したこと、国の保険診療報酬の改定等によって、中小病診の経営に不利な報酬点数になったことなどから病院の赤字経営の一つの要因となりました。

また、高野山病院では医師、看護師が不足している中、現在の医師、看護師に負担をかけている状況です。そのような中、院長はじめ副院長等と院内会議を中心に、運営会議、病院経営会議を重ね、何とか、今まで通りに近

い運営が出来ないものかと検討を重ねて来た結果、今まで通りの、一診、二診体制、そして整形外科、眼科の診療を行い、急患が出た時は消防署との連携を密にして、対応させていただきまます。そして、病院に來れない方等の自宅で療養している方は、訪問診療で計画的に往診し、介護保険の認定をうけている方には、看護師が自宅に向いて、療養のお手伝いをさせていただき訪問看護を実施してまいります。

以上のように、町民の皆さんの生命と安心と健康を全力で守り、確立して参ります。

質問 高野町の学校教育、社会教育についておたずね致します。

答弁（教育長） 温かさに満ちた活気ある町づくりを指針とし、先ず学校教育については、小学校3校、中学校2校の行事、研究授業、授業参観等機会あるごとに訪問させていただくとともに、各学校長からの聞きとり、諸報告の確認に基づき、校長会で指導させていただいている所です。

高野町の学校は小規模校で配置基準を満たさず、県配置の人員では十分でないので支援員、養護教諭を町独自で置いていただいております。

社会教育においては、公民館の図書の実存によって、公民館自身の「たまり場」的存在も確認致しました。社会教育では、青連協等各種団体の活動を通じて、ボーイスカウト、ねぶた、太鼓、ツデーマーチ、文化祭、ローソク祭り、青葉祭り、語り部の会等が行われています。生涯教育として、又高野町の文化として、末永く活動を続けられるよう、支援

させていただきたく思っております。

質問

町管理（高野山多目的集会所）の使用状況について、高齢者が毎日元気に生き生きと明るく日常生活が送れるよう、又自由に話し合いや、語りあいが出来る場所として集会所を開放しては如何なものか、お尋ね致します。

そして町内に、あき耕地たる場所があれば家庭菜園とか花を造ることが出来れば太陽の光を浴び乍ら、汗を流す作業が出来て元気な高齢者をつくることになるので是非耕地を見つけていただきたい。

答弁（健康推進課長） 現在多目的集会所の管理規程を守って使用している団体があるので、使っていない日を確認していただき、どなたでも活用していただきたい。

又あき耕地については、町内であき耕地として使っても良い場所が出た時は紹介させていただきます。

質問 弘法大師開創一二〇〇年記念大法会を控え町内の景観について熊谷寺下の石垣のあたりが大変見苦しいのと危険を感じるので改修していただきたい。

答弁（建設課長） 以前にも指摘していただいていた場所で国道371と町道が重なった所と認識しています。バスの停留所も改修が必要と考えておりますので、その時危険個所の整備も併せて行なう予定です。しかし、樹木は本山の管理なので、関係者と調整のうえ、対応します。





松谷 順 功 議員

環状道路とまちづくりについて

質問 環状道路（国道480号道路改良工事）の一部が県議会で原案可決され、年度内に着工されます。

町長はこの環状道路を有効利用した、まちづくりをどのようにお考えですか。道路が出来る事により通り抜けになるのでは、と懸念している住民の方もおられます。

答弁（町長） 質問の観点から少し外れるかも知れないが、環状道路が建設された折には、景観も鑑み又観光資源の一つである紅葉樹林化の方向性を示したい。高速道路より高野山への参拝、観光の主要道路は480号という形に成って来ており、紅葉樹林化に関して森林管理署とも話し合っています。本山も同じ方向性を示していただいています。ただ規制緩和の厳しい部分もあります。環状道路を生かしたまちづくりについてですが、高野山は一つの目的地であります。環状道路を利用して直接奥の院に参拝される方、勿論おられるとは思いますが、そういう方々は環状道路を利用していただければ渋滞緩和の一助になるのではないかと思います。環状道路完成と言う部分で、まちへの誘導看板が非常に重要であると考えています。今総合交通計画検討委員会で検討していただいております。又駐車場整備を考えており、幼稚園跡、一の

橋、大門等々計画を立てております。

質問 紅葉樹林化を考えているとの答弁が中心だったと思います。良い考えとは思いますが、秋の観光客は紅葉を求めて来られる方が多いと思います。逆に環状道路に誘導するような形になるのではないですか。

答弁（町長） 全国各地を見ても、ただ紅葉を見る目的だけで観光客が行くのではないと私は思っています。観光・参拝に致しましても、色々な複合的な部分があり来られると考えます。高野山が有り、そこで紅葉を見て、金剛峯寺・奥の院に参拝されるというニーズがあるからこそ、来られると思っています。プラス紅葉樹林化によって、今以上の観光客を呼べるのではないかと考えています。環状道路の方に観光客が取られるのではないかと考えています。

質問 環状道路からの取付道路については、町長御存知と思いますが、平成15年環状道路の計画がありました。しかし商工会の反対もあり実現しませんでした。今回の環状道路計画を県に陳情するにあたり、取付道路を付けるとの話で商工会は同意したと聞いています。どのような取付道路をどこに計画されていますか。

答弁（町長） 平成15年以前より建設の予定はありました。しかし住民の理解が得れなかつた事で、町当局又本山を含め県への要望、要請が遅れて来たと思っています。環状道路を生かしたまちづくりを、住民、議会の環状道路建設とまちづくりについての調査特別委員会も含め検討していただかなければならな

いと思っています。ただアクセス道については、4kmの道路にはたして何本の引込道が必要なのか、高野町の総合交通計画に鑑み検討して行かねばならないと思います。駐車場整備に伴って、この地点にアクセス道の計画を立てればどうかというような設計図面は出上がっています。

質問 計画があると理解して良いですか。実行される考えはありますか。

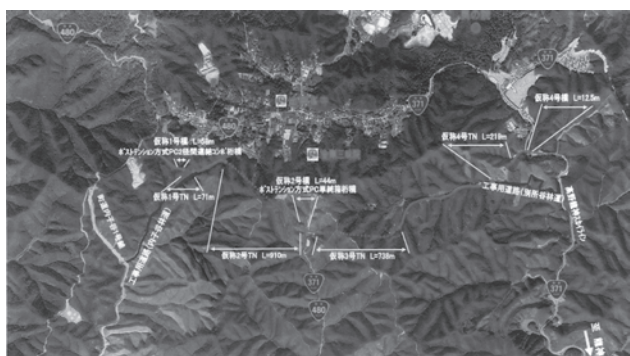
答弁（町長） 計画ではありません。設計を立てたと理解して欲しい。

質問 総合交通計画検討委員会に付託されるのですか。

答弁（町長） 付託致しません。要か不要か、住民の方々の全体意見を聞いて検討したい。

質問 スピードが出せそうな道であり、事故の可能性ががあります。信号を付ける計画がありますか。

答弁（建設課長） 40kmの設計速度と聞いています。現在のところ交差点は4箇所のみです。通行状況により対策が必要と考えています。





大西 正人 議員

高野山病院について

質問 新しい医療体制の内容について、今一度お聞きしたい。通告の在宅医療に不安を抱く方もおられます、どのような対策を考えていますか。

答弁 (病院事務長) 4月からの診療所化に伴い、病棟の人的な余力を、外来業務、在宅サービスへ、シフトしていきます。

訪問診療は、通院が困難な方を対象に、医師が定期的、計画的に行う往診です。訪問先は、富貴、筒香地区を除く町内のすべてを対象地区とします。一人の先生が週一回に、2名から3名の患者様を訪問するとして、一月に約30名から40名の患者様への訪問が可能と考えています。訪問看護と連携しながら、在宅での療養生活ができるように、お手伝いさせていただきます。

4月から円滑に行う為の準備として、訪問診療については試行的に開始しています。訪問看護は、病気や傷害を持った人が、住み慣れた地域や家庭で、その人らしく療養生活がおくれるように、看護師等が生活の場へ訪問して看護ケアを提供し、自立への援助を促し、療養生活を支援するサービスです。具体的には、点滴、注射、褥瘡のケア、排泄のケア、清潔ケア、服薬管理、生活動作の指導、介護方法の指導、在宅酸素などの導入

です。訪問先は訪問診療と同じ範囲内で、一人の看護師で一日3名から4名訪問するとして、一週間に15名から20名の訪問が可能と考えています。

訪問看護については現場研修も必要な事から、他の事業所へ研修に行かせてもらい、4月からの開始に備えて参ります。

在宅医療については今後、広報を通じ住民の皆様にも周知していくと共に、病院での診療を通じても案内を行っていく予定です。

町の包括支援センター、社会福祉協議会、南山苑、との連携によってサービスが必要な方を把握し、各関係機関でのサービス等、今後の診療所の訪問診療、訪問看護を組み合せながら、一体的、体系的にサービスを提供し、在宅での生活を維持できるよう取り組んで参ります。

診療所の窓口等で看護師による、在宅医療に関する相談窓口の開設等も検討しています。

次世代育成支援について

質問 子どもを生み育てる家庭への支援の充実、子どもが健やかに育つ環境づくりの推進など、少子化が進む高野町にとって大変重要な施策です。その後の進捗をお聞きます。

答弁 (健康推進課長) 平成22年3月に、次世代育成後期行動計画を策定して、具体的な数値で表したものを掲げています。それ以前に、経済的な支援は始まっていますが、環境づくりについては、進んでおらず申し訳ない状況です。

学童保育については、実現に向けて詳細なニーズ調査をしたいと考えています。

子育て支援センターは、平成26年には実現したいと思っています。地域協議会を開かせて頂き、最終26年度に計画目標を達成できるように、本当に着々と進めていきたいと考えています。

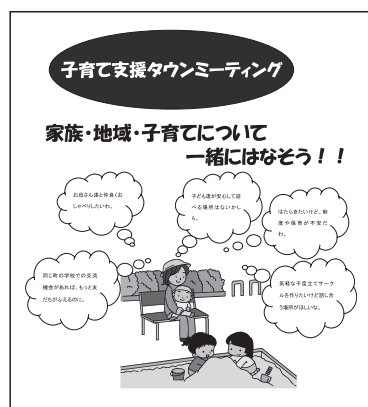
質問 子育てタウンミーティングなど、今年度開催していますか。

答弁 (健康推進課長) 今年度はまだ実施しておりません。今年度中に地域協議会と、できたらタウンミーティングも実施していきたいと考えております。

質問 学童保育については「教育委員会とも話をしていたかなければ」と言う事でしたが、この事に関して教育長の考えをお聞きたい。

答弁 (教育長) 学童保育については、場所と人、と言う事になると思います。保護者の方から「小学校の空き教室を活用できないか」と言う話も出ていましたが、学校の方と具体的な話は、まだできていません。

健康推進課とも、今後の学童保育の有り方について、人の確保、場所の確保と言う事で、連携を考えております。





中前 好史 議員

経済効果のある町づくりを

質問

来る平成27年には、高野山開創1200年記念大法会が4月2日から5月21日までの50日間行うとのことで、総本山金剛峯寺が準備を進めています。開催されることにより、多くの観光客また参拝客が高野町にきていただけることと予想されます。県においては、高野山のことを考え矢立大門間の道路の改修工事も進めていただいているところとです。また高野山環状道路をつくる事によって山内を混雑させずに参拝客また観光客が安全で快適である。高野山に来てよかつたと思っただけのような交通対策また歩行環境について、現在進めていただいているところではありますが、経済効果のある町づくりの進行状況を聞きたく思いますのでよろしくお願ひします。

答弁 (まち未来課長) 住民と一緒に経済効果の上がる町を造っていく仕掛けをこちらがするべきではないかと考えています。先ず最初に平成27年には大法会が50日間開催されるということ、先般南海なんば駅で1200日前カウントという事で電光掲示板も設置されており気分も高まってきております。そういう中でこの3年間において、高野山をPRする絶好の機会であり、観光振興についても色々と考えていかなければならないと考えて

おります。

総本山から、予定表もいただいておりますが、昭和59年の1150年御恩忌の年は180万の入込客というデータもあります。高野山にとって、この町にとって1200年法会については大きな事業でもありますので社会資本整備もやって行かなければならないと考えています。今の高野山のバス、タクシー、マイカーを含めて交通体系は本当にこのままでいいのか。問題はないのかということを経済的に検討しなければならぬとの事で、8月に高野町総合交通計画検討委員会を立ち上げました。学識経験者の大学の教授、住民代表として各種団体の5名、町議会、総本山金剛峯寺、観光協会、商工会、公共交通協会として南海電鉄、高野山タクシー、林間バス、有鉄タクシーの方にも入っていただいております。また道路管理者として和歌山県交通管理者として橋本警察、町長が認める団体として県の総合交通対策にも加わっていただいて検討に入っております。訪れた方がどのように満足度をアップさせるか高野山に来てよかつた。他の観光地にはないすばらしい雰囲気があった。また是非訪ずれたいと期待をもっていただけの環境をつくり循環道路ができた後も循環道路や高野山道路、中の橋駐車場に誘導看板を作って観光客が気軽に安心して歩いて観光ができ、町中に賑わいが生まれるような仕組みを考えていきたいと思っております。トツプシーズンの交通対策それと公共交通を利用する人が増えるような仕組みづくりも併せて検討していかなければなりません。

沢山の方に高野山に来ていただくためには、駐車場の整備だけでなく、この高野山に住んでいる人の車の使い方の転換、通勤している方の駐車場対策も必要ではないかと。観光客用の駐車場に地元の車が沢山駐車しているとの報告書も届いてございますので通勤して来る方の駐車場を確保して、そこから町の中心部へ送迎するような試みをしてはどうかとのこと。そうする事で町の中の駐車場なり道路の使い方が変わってくるのではないかと。ことで、24年度中に実証実験する事が決定してございます。

観光等で時間を消費していただくことにおいては、そこで消費する金額も増えてくるという流もございます。人が沢山来る事で賑わいのある町が出来るのではないかと考えてございます。

どのような体系で受け入れるのが一番いいのか今後協議を行って行きたいと思っております。



10月

- 広報特別委員会（編集会議）
- 高野町戦没者秋季慰霊祭出席
- 広報特別委員会（編集会議）
- 和歌山県町村議会議長会政策審議会出席
- 橋本周辺広域ごみ処理場環境保全委員会出席
- 高野町議会議員研修（東京都）
- 和歌山県清掃連合会及び環境整備事業組合総会出席
- 埼玉県川越市議会行政視察来町

11月

- 高野町文化祭出席
- 神奈川県平塚市議会行政視察来町
- 全国町村議会議長大会（東京都）
- 高野町議会厚生建設常任委員会（管内道路視察）
- 高野町議会総務文教常任委員会（管内小・中学校視察）
- 和歌山県町村議会議長会委員長研修参加
- 高野山病院運営委員会

12月

- 伊都郡・橋本市公民館大会
- 議会運営委員会

一般質問（質問詳細については、4～7ページに掲載）

受付順	氏名	質問事項
1	平野 一夫	・ 病院の将来像について ・ 教育について ・ 町管理（高野山多目的集会所）の使用について ・ 景観と危険個所の整備
2	松谷 順功	・ 環状道路とまちづくりについて
3	大西 正人	・ 高野山病院について ・ 次世代育成支援について
4	中前 好史	・ 経済効果のある町づくりを

次の方が選任されました。

高野町固定資産評価審査委員会委員

下 俯己氏

一般質問については

『発言』及び『答弁』の内容は、質問者に編集・校正をお任せし、質問者の責任のもと掲載しております。



新年あけましておめでとうございます。町民の皆様方にはお健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年をふりかえりますと、3月11日に東日本大震災がおき、また9月には台風12号が紀伊半島を直撃し、特に紀中、紀南地方は大惨事に見舞われました。東日本の被災者同様一日も早い復旧復興を心からお祈り申し上げます。我々の先人たちは、このような試練の中、逆境を逆手に取り、それをバネとして、今日の世界トップクラスの技術、経済を創造し続けております。しかしそこには互助精神、団結力や強い明日への希望を持ち続ける決意が必要であったに違いありません。町民皆様には高野町発展の為、意見や提案を聞かせていただき、議会で慎重審議の上、是非で判断し、行政に進言していく所存であります。今後とも一層のご協力、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

「成せば成る、成さねばならぬ何事も」
ご愛読、誠にありがとうございました。

（掛 正和）